

白糠か 南幌か 全国へのキップ懸けあす決戦

止まらない上田連日弾！ 有間決勝二塁打

◇準決勝第1試合◇開始8:51◇網走市営

	1	2	3	4	5	6	7	8	9	計
えりも町職	0	0	2	0	0	0	0	0	0	2
白糠町職	0	0	0	1	1	1	0	0	×	3

【えりも町職】 ●岩間

【白糠町職】 植野 — ○平下

試合が動いたのは3回。えりも町職が鈴木、川村、中野の3連打でたたみかけ2点を先制する。

しかし、白糠町職は4回、前日まで2本塁打と今大会大当たりの上田が、この日もライトスタンドへ本塁打を叩き込み反撃の口火を切る。

5回にはエラーで出塁した鈴木を代打青木がしっかり送って五十嵐の右中間への適時二塁打で同点に追いつくと、6回には吉村が左安後二盗、有間の右中間適時二塁打で勝ち越した。

えりも町職は9回に先頭打者の中野が左中間二塁打で出塁し一打同点の場面を作ったが、続く岩間が送りバントを失敗、さらに一塁へのスタートが遅れる痛恨のミスでチャンスを逸した。

投げては先発植野が4・5回を無安打、さらには二番手の平下が6回以降打者12人で終わらせる好リリーフを見せた。 (写真＝ナインに出迎えられるホームランの上田)

伊藤投げた！ 打った！ 投打に魅せた好技

◇準決勝第2試合◇開始11:08◇網走市営

	1	2	3	4	5	6	7	8	9	計
恵庭市職労	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
南幌町職	0	0	0	0	0	0	1	0	×	1

【恵庭市職労】 一戸 — ●杉森

【南幌町職】 ○伊藤

恵庭市職労一戸、南幌町職伊藤の両先発の好投でゼロ行進の続く行き詰る投手戦となった。

南幌町職は1回四球と犠打、死球で二死一・二塁とし、児玉がレフト線へ二塁打を放つが、走者鷲尾が本塁憤死し先制の好機を逃す。

恵庭市職労も2回一死一・二塁、5回二死一・三塁の好機をいずれも逸する。

7回、南幌町職は6回からリリーフした杉森から先頭打者の山本が左中間二塁打で出塁、小中の二ゴロの間に三塁へ進み、先制点の好機を迎える。ここでここまで好投の伊藤が前進守備の体形を見て二塁手の横を軽打で抜き、待望の1点がようやく入った。

投げては伊藤は走者を出しながらも要所を締める投球で最後までしのぎ、完封で逃げ切った。

恵庭市職労は9残塁とあと一本が出ず、本塁が遠かった。 (写真＝6安打完封勝利の伊藤)

